

## 基本的医療手技Ⅱ

ナンバリング M3-S1-H02

責任者・コーディネーター	医学教育学分野 高田 亮 教授、実践教育部門長、OSCE委員長		
担当講座・学科（分野）	医学教育学分野、産婦人科学講座、呼吸器内科分野、脳神経内科・老年科分野、看護学部共通基盤看護学講座		
担当教員	高田 亮 教授、相澤 純 特任講師、鈴木 真沙子 講師、内海 裕 特任講師、羽場 徹 助教、各診療科指導医		
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義 0コマ 0.0時間
期間	前期		演習 0コマ 0.0時間
			実習 20コマ 40.0時間

### ・学習方針（講義概要等）

医師という職業は、知識があることを求められているのではなく、目の前にいる患者さんの問題を解決するために知識を活用できることを求められる職業である。さらに、問題解決のためには医行為を正確に、安全に行えることが必須となる。令和5年度からは医師法改正に伴い、Student Doctorの立ち位置が明確になり、指導医の監視の下、患者さんに対し医療手技を行うことが法的に認められることとなった。患者さんに医療手技を行うにあたっては、事前の十分なトレーニングと医療プロフェッショナルとしての行動・態度が求められている。本科目においては、これまでの学びで得た知識を融合しながら、基本的な医療手技の修得を目指すとともに、これからの学びで必要なことを考える。

### ・教育成果（アウトカム）

客観的臨床能力試験（OSCE）に即した実践的な実習を行うことで、医師としてプロフェッショナルな態度で、3学年時で修得しておくべきレベルの基本的医療手技ができる。また、実習前後に自己省察を行うことで、今までの学びを振り返り、これからの学びで自分自身に必要なことが何かを考えられる。

（ディプロマ・ポリシー： 2,3,4,5,6 ）

### ・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	3学年時で修得しておくべきレベルの基本的医療手技ができる。
2	医師としてのプロフェッショナルな態度で行動ができる。
3	実習前後に自らの行動を省察できる。

・ 講義場所

本部棟SGL、西講義実習棟実習室、災害時地域医療支援教育センター

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号	事前事後学修/ICT
実習	6/29(月)	1	医学教育学分野 医学教育学分野	高田 亮 教授 相澤 純 特任講師	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 医療面接手技についてまとめ、評価に備えて練習を行っておくこと（所要時間 60分）。 【事後学修】 医療面接シーンを録画したビデオを視聴し、その内容を評価すると共に、面接手技についての省察をおこなうこと（所要時間 60分）。 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/29(月)	2		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/29(月)	3		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/29(月)	4		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

実習	6/30(火)	1		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 実技実習の前に与えられた課題（ビデオ視聴）を必ず行うこと（所要時間 60分） 【事後学修】 実技実習での手技のポイントをノートにまとめておくこと（所要時間 60分） 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/30(火)	2		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/30(火)	3		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	6/30(火)	4		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	7/1(水)	1		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 実技実習の前に与えられた課題（ビデオ視聴）を必ず行うこと（所要時間 60分） 【事後学修】 実技実習での手技のポイントをノートにまとめておくこと（所要時間 60分） 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする
実習	7/1(水)	2		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事前資料をアップする

実習	7/1(水)	3		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
実習	7/1(水)	4		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
実習	7/2(木)	1		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 各手技の臨床実習前OSCE教育・学修用動画と同じ手技ができるように、ペアでトレーニングを行うこと（所要時間60分） 【事後学修】 評価結果を基に各手技のポイントをノートに再度まとめておくこと。また各手技について、ペアで復習を行うこと。（所要時間60分） 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
実習	7/2(木)	2		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
実習	7/2(木)	3		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする
実習	7/2(木)	4		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】WebClassに事前資料をアップする

実習	7/3(金)	1		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 各手技の臨床実習前 OSCE教育・学修用動 画と同じ手技ができる ように、ペアでトレ ーニングを行うこと（所 要時間60分） 【事後学修】 評価結果を基に各手技 のポイントをノートに 再度まとめておくこ と。また各手技につ いて、ペアで復習を行 うこと。（所要時間 60 分） 【ICT】 WebClassに事 前資料をアップする
実習	7/3(金)	2		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事 前資料をアップする
実習	7/3(金)	3		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事 前資料をアップする
実習	7/3(金)	4		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3	【事前学修】 同上 【事後学修】 同上 【ICT】 WebClassに事 前資料をアップする

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	診療参加型臨床実習に必要なとされる技能と態度についての学修・評価項目（1.0版）	医療系大学間共用試験実施評価機構	左記ホームページ内医学系OSCE公開資料より	
参考書	診察ができるVol.1 身体診察		MEDIC MEDIA	2023
参考書	医学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版	モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会	文部科学省ホームページより入手	2022

・成績評価方法

【総括評価】

- ・医療面接・胸部診察・腹部診察・神経診察の各々について、技能と態度を評価票で評価する。全ての手技を個別必須条件とし、1つでも不合格の場合は（不合格の手技についてののみ）再試験を行う。
- ・各手技について100点満点換算し、60点以上を合格とする。総合評価は、全ての手技の平均点を用いるが、60点以下の手技があった場合は、その点数（複数ある場合は最低点）を総合評価とする。
- ・欠席で評価を受けなかった学生については、正当な事由で欠席届が提出された場合のみ、個別に別日程で評価をおこなう。それ以外の場合は評価を行わない。
- ・基本的臨床手技（心電図と静脈採血）は、形成的評価のみで総括評価を行わない。

<医療面接>

2年生と3年生がペアを組み、医療面接手技の技能・態度評価をおこなう。具体的には、まず学生は事前に提示された課題と内容を学修する。当日は2年生が医療面接模擬患者、3年生が医療面接医師役として医療面接を行う。評価は、評価員によって行われる。

<胸部診察・腹部診察・神経診察>

同学年でペアを組み、各診察手技の技能・態度評価をおこなう。具体的には、まず学生は各診察手技について、動画と実習で学修を行う。当日は、患者役と医師役に分かれて、各診察手技を行う。手技は前半と後半に分けて、後半は医師役と患者役を交代する。評価は医師役として行った診察手技の内容で、評価者が評価をおこなう。前半を担当するか、後半を担当するかは、評価時にランダムに指定する。

【形成的評価】

各手技の実習時に、観察とフィードバックを行う。  
胸部診察・腹部診察・神経診察の総括評価時に、評価結果のフィードバックを行う。

到達目標	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1,2,3	2,3,4,6						100	100
合計							100	100

・特記事項・その他

実技実習の前に与えられた課題（ビデオ視聴）を必ず行うこと（予習時間目安：60分）。  
実技実習での手技のポイントをノートにまとめておくこと（復習時間目安：60分）。

講義資料はWebclassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有  
大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

講義室、実習室、インターネット環境、シミュレーター

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			